

資料編

資料1 子どもや子育ての現況

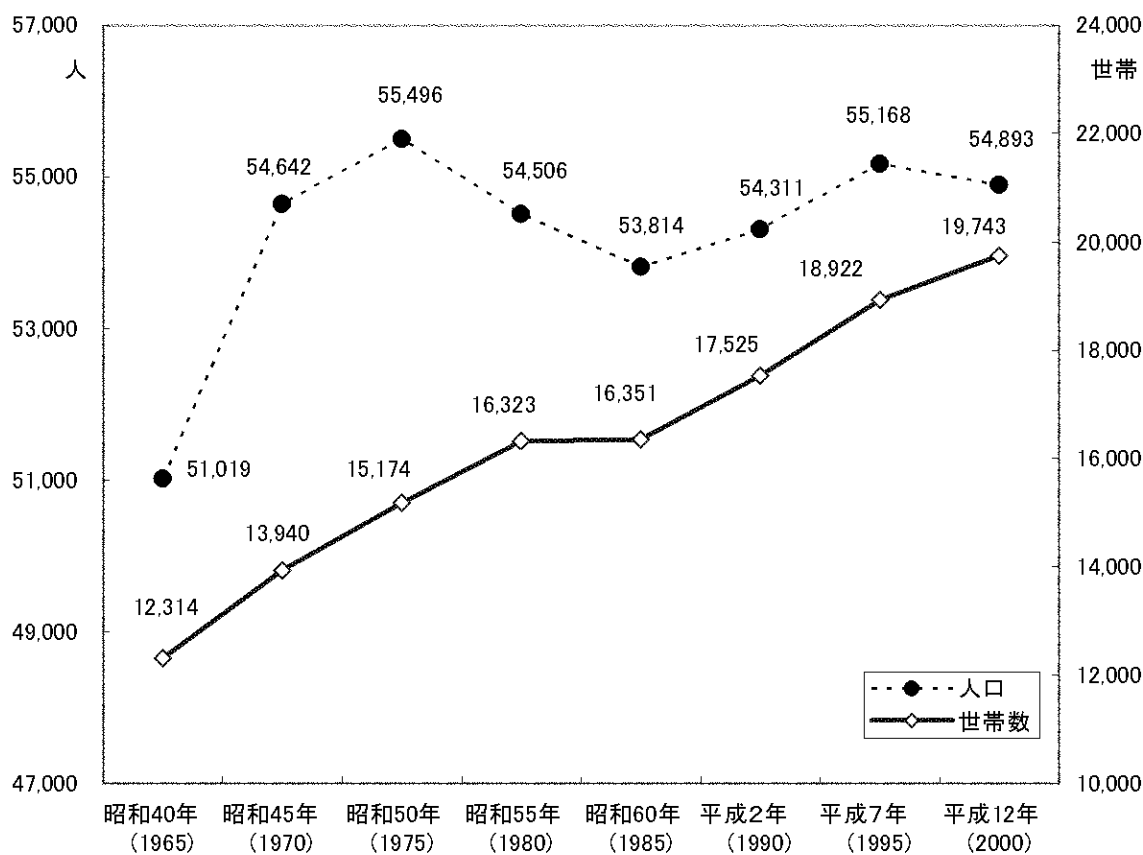
1. 人口・世帯の現況

(1) 人口・世帯の推移

現在の人口は、昭和40年から平成12年までの35年間に約8%増で推移し、平成12年には54,893人になっています。

昭和30年代から40年代前半において、3町の人口増加率は全国・県内平均を上回る増加を示していましたが、昭和45年以降は微増減を繰り返しています。また、3町の世帯数は、一貫して増加しており、平成12年には19,743世帯になっています。

図1 人口・世帯の推移



資料 国勢調査

(2) 人口動態

平成13年度の社会増減・自然増減をみると、転出者が転入者を上回っている一方で、出生者数が死亡者数を上回っていますが、全体ではほぼ横這いとなっています。

表 1 人口動態（平成13年度）

	転入者数比率 (人口千人比)	転出者数比率 (人口千人比)	出生者数比率 (人口千人比)	死亡者数比率 (人口千人比)	増減率
3町・計	55.40	58.67	11.11	7.61	0.06%
旧・西枇杷島町	49.95	63.84	10.81	6.65	-1.04%
旧・清洲町	62.52	61.41	10.98	7.49	0.52%
旧・新川町	52.98	51.17	11.52	8.58	0.58%
愛知県	47.93	46.89	10.31	6.91	0.48%

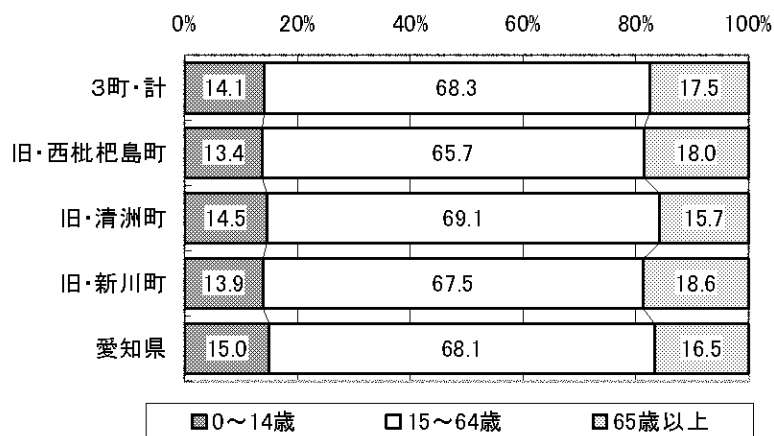
※平成14年3月31日現在の人口に対する各比率

資料：愛知県統計課

(3) 年齢構成

年齢3区分別人口構成比をみると、年少人口（15歳未満）の割合は14.1%と、愛知県平均よりもやや低くなっています。一方、高齢者（65歳以上）の割合は17.5%と、愛知県平均よりも高い割合となっています。

図 2 年齢3区分別人口構成比

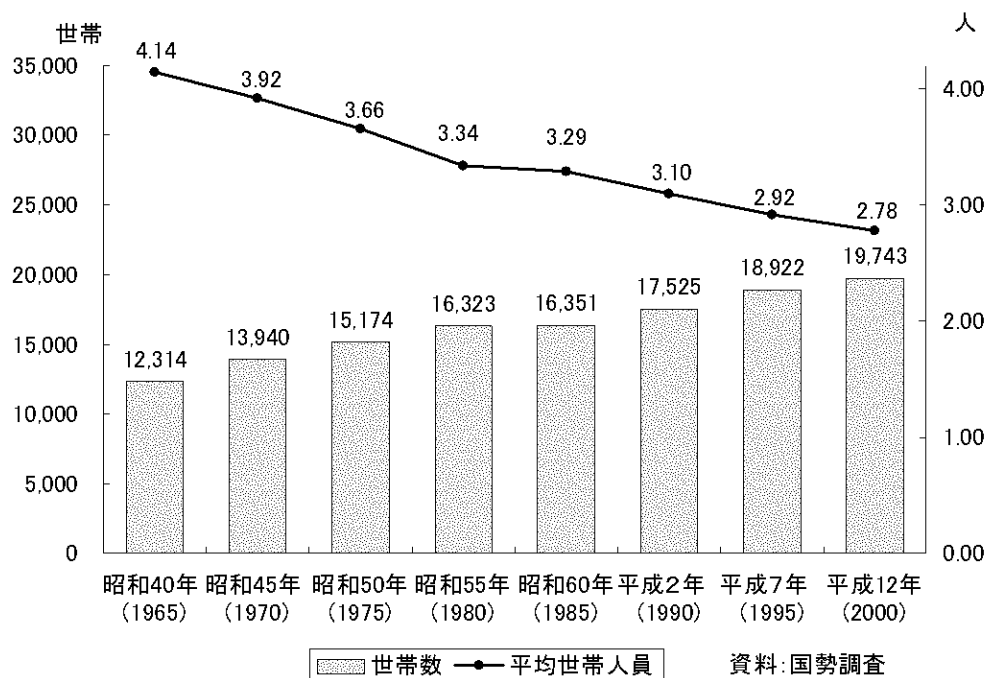


愛知県統計課（平成16年度4月1日）

(4) 世帯人員の推移

昭和45年以降、人口は微増減を繰り返し、ほとんど変化がみられない一方で、世帯数は一貫して増加していることから、平均世帯人員は減少しています。

図3 世帯人員の推移

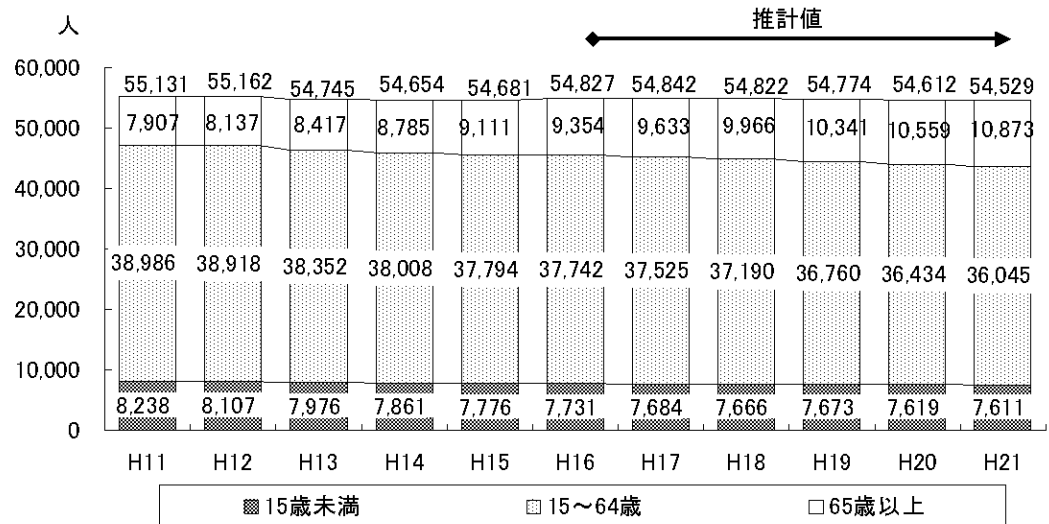


* 昭和60年の国勢調査から、それまでの準世帯(間借りや独身寮など)をそれまでの普通世帯と合わせて一般世帯とするようになったため、昭和50・55年は普通世帯、昭和60年以降は一般世帯の値となっている。

2. 児童数の将来予測

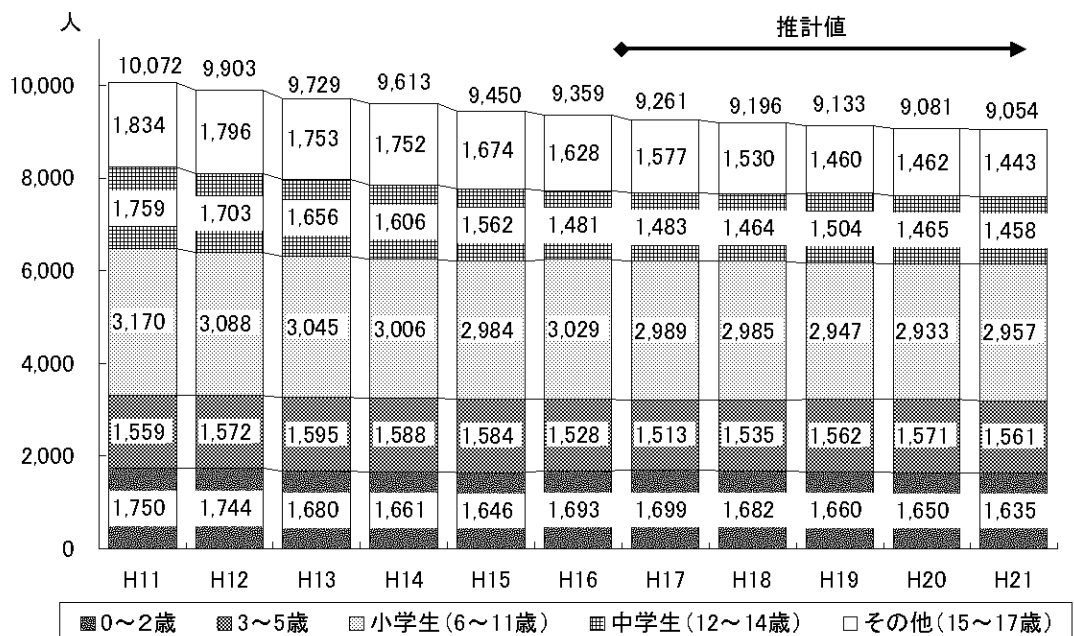
過去の人口の推移及び出生数をもとに、コーホート法による人口推計によると、総人口はやや減少すると予測されます。年齢別では、65歳以上が増加する一方で、15～64歳、15歳未満の減少が予測されます。また、18歳未満を年齢別にみると、15～17歳の減少が予測されます。

図4 年齢3区分別人口の推計



資料：住民基本台帳(各年4月1日現在)

図5 18歳未満の児童の人口推計



資料：住民基本台帳(各年4月1日現在)

3. 地域の特性

(1) 地勢

3町の区域は、愛知県西部、尾張平野のほぼ中央に位置し、南東部を名古屋市に、北部を稲沢市及び春日町に、西部を甚目寺町にそれぞれ接しています。

地形は比較的平坦で、庄内川の下流域にあり、ほとんどの地域が海拔10m未満となっています。また、庄内川のほかに新川、五条川などの河川が流れ、豊かな水辺環境に恵まれ、四季折々の風景を楽しむことができます。

交通は広域の利便性に恵まれ、JR東海道本線、名鉄名古屋本線・犬山線・津島線及び東海交通事業城北線の鉄道網のほか、東名阪自動車道、国道22号、国道302号などの道路網により周辺都市との連携が図られています。

(2) 地域の安全性（交通事故の発生状況）

町内における交通事故（人身事故）の発生件数とみると、愛知県全体の7.80件（人口千人比）に対し7.43件とやや低くなっています。また、歩行者の負傷者の発生件数は、県平均よりも低いものの、自転車の負傷者はやや高い件数となっています。

表 2 交通事故の発生件数（平成14年度）

	人口 (H14.10.1)	人身事故 件数	総数		歩行者		自転車	
			死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者
3町・計	54,399	404	2	515	1	14		102
	対人口千人比	7.43	0.04	9.47	0.02	0.26	-	1.88
旧・西枇杷島町	16,644	129	2	165	1	7	-	39
	対人口千人比	7.75	0.12	9.91	0.06	0.42	-	2.34
旧・清洲町	19,153	173	-	230	-	4	-	39
	対人口千人比	9.03	-	12.01	-	0.21	-	2.04
旧・新川町	18,602	102	-	120	-	3	-	24
	対人口千人比	5.48	-	6.45	-	0.16	-	1.29
愛知県	7,122,252	55,552	398	68,904	113	3,851	85	11,814
	対人口千人比	7.80	0.06	9.67	0.02	0.54	0.01	1.66

県警察本部交通部交通総務課「愛知の交通事故」（平成14年度），愛知県人口動向調査

4. 子どもの状況と子育ての実態

(1) 保育園の状況

市内の保育園の利用者数と就学前の人口は、下表の通りです。

表 3 保育所の利用者数（平成 15 年度）

		合 計	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳
3町・計	人 口	3,230	575	538	533	515	522	547
	利用者	1,055	7	67	81	287	305	308
	(割合)	32.7%	1.2%	12.5%	15.2%	55.7%	58.4%	56.3%
旧・西枇杷島町	人 口	976	173	157	167	144	147	188
	利用者	107	2	20	14	22	25	24
	(割合)	11.0%	1.2%	12.7%	8.4%	15.3%	17.0%	12.8%
旧・清洲町	人 口	1,179	193	211	189	194	199	193
	利用者	457	0	23	27	128	134	145
	(割合)	38.8%	0.0%	10.9%	14.3%	66.0%	67.3%	75.1%
旧・新川町	人 口	1,075	209	170	177	177	176	166
	利用者	491	5	24	40	137	146	139
	(割合)	45.7%	2.4%	14.1%	22.6%	77.4%	83.0%	83.7%

※私的利用児を除く

平成 15 年4月1日現在

(2) 放課後児童クラブの状況

市内の放課後児童クラブの利用者数と小学校1～3年生の人口は、下表の通りです。

表 4 放課後児童クラブの利用者数（平成 15 年度）

		合 計	1 年生	2 年生	3 年生
3町・計	人 口	1,496	483	502	511
	利用者	260	108	95	57
	(割合)	17.4%	22.4%	18.9%	11.2%
旧・西枇杷島町	人 口	467	148	164	155
	利用者	55	20	23	12
	(割合)	11.8%	13.5%	14.0%	7.7%
旧・清洲町	人 口	530	171	172	187
	利用者	88	37	32	19
	(割合)	16.6%	21.6%	18.6%	10.2%
旧・新川町	人 口	499	164	166	169
	利用者	117	51	40	26
	(割合)	23.4%	31.1%	24.1%	15.4%

平成 15 年4月1日現在

(3) 学校教育の状況

市内の小学校、中学校（各1校）の児童数・生徒数は下表の通りです。

表 5 小学校の児童数

	学級数							計
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	
	97	467	497	502	475	524	469	2,934
旧・西枇杷島町	29	142	160	150	151	150	150	903
西枇杷島	14	72	73	79	75	66	84	449
古城	15	70	87	71	76	84	66	454
旧・清洲町	33	165	172	187	163	183	159	1,029
清洲	21	108	121	120	113	121	117	700
東	12	57	51	67	50	62	42	329
旧・新川町	35	160	165	165	161	191	160	1,002
新川	18	71	91	92	85	103	91	533
星の宮	7	33	39	34	35	36	29	206
桃栄	10	56	35	39	41	52	40	263

資料 学校基本調査(平成15年5月1日)

表 6 中学校の生徒数

	学級数				計
		1年	2年	3年	
3町・計	32	344	345	357	1,447
西枇杷島	12	117	138	146	401
清洲	16	167	163	176	506
新川	16	177	182	181	540

資料 県企画振興部統計課「あいちの学校統計」(平成15年5月1日)

資料2：アンケート調査結果の概要

1. 子育て・子どもの環境に関するアンケート調査

子どもや子育ての実態、保育サービス等の利用意向、子育て支援や地域環境に対する住民意向を把握することを目的に、就学前児童と小学校低学年児童の保護者の方を対象に、アンケート調査を実施しました。

表 7 アンケート調査の概要

調査対象	就学前児童・保護者			小学校児童・保護者		
	西枇杷島町	清洲町	新川町	西枇杷島町	清洲町	新川町
サンプル数	732 票	1,168 票	1,063 票	478 票	534 票	500 票
有効回収数	557 票	917 票	806 票	430 票	499 票	486 票
有効回収率	76.1%	78.5%	75.8%	90.0%	93.4%	97.2%
調査方法	郵送配布・回収、 一部保育所を通じて配布・回収			学校を通じて配布・回収		
調査時期	平成 16(2004)年 1月 20 日～2月 3日(西枇杷島町) 平成 16(2004)年 1月 23 日～2月 3日(清洲町・新川町)					
調査地区	町内全域					

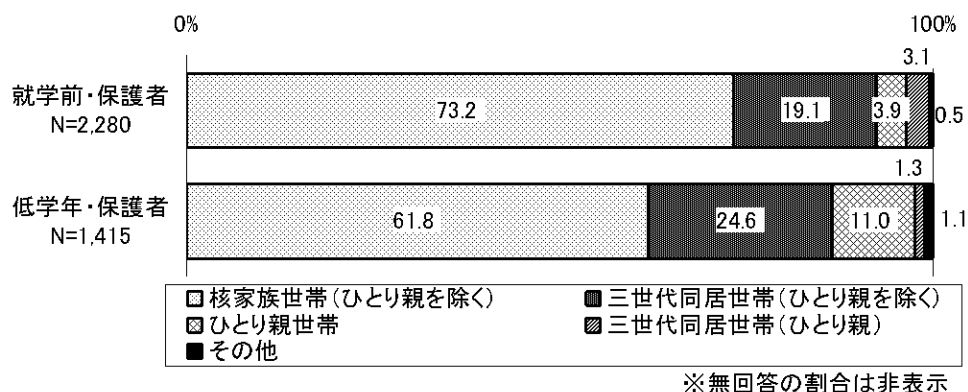
調査結果の分析を読む際の注意点

- 1 Nは質問に対する無回答を含む集計対象総数で、割合算出の基準です。
- 2 割合は百分率(%)で小数点以下第2位を四捨五入しています(合計が100.0%とならない場合があります)。また、1人の回答者が2つ以上の回答をする設問では、各選択肢の割合の合計は100.0%を超えています。
- 3 分析文中では、「就学前児童保護者アンケート」の結果を「就学前保護者」と表しています。以下同様に、「低学年児童保護者アンケート」の結果を「低学年保護者」としています。

○6～7割強が核家族世帯

「核家族世帯」の割合が多く、就学前保護者が7割強、低学年保護者が6割強となっています。次いで、「三世代同居世帯（ひとり親を除く）（以下、三世代同居世帯）」は、就学前保護者が2割、低学年保護者が3割弱となっています。

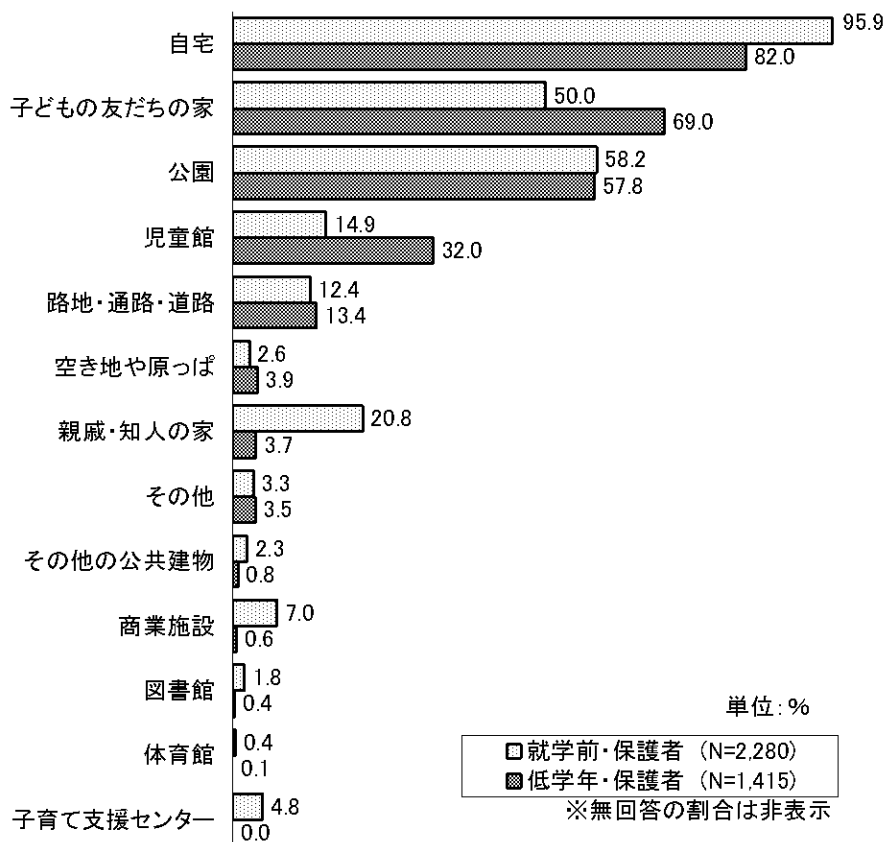
図 6 世帯の型



○遊び場は「自宅」、「子どもの友だちの家」、「公園」が多い

平日の遊び場については、就学前保護者のほぼ全員、低学年保護者の8割強が「自宅」をあげています。次いで、低学年保護者の7割強、就学前保護者の5割が「子どもの友だちの家」、就学前保護者、低学年保護者ともに6割弱が「公園」とあげています。

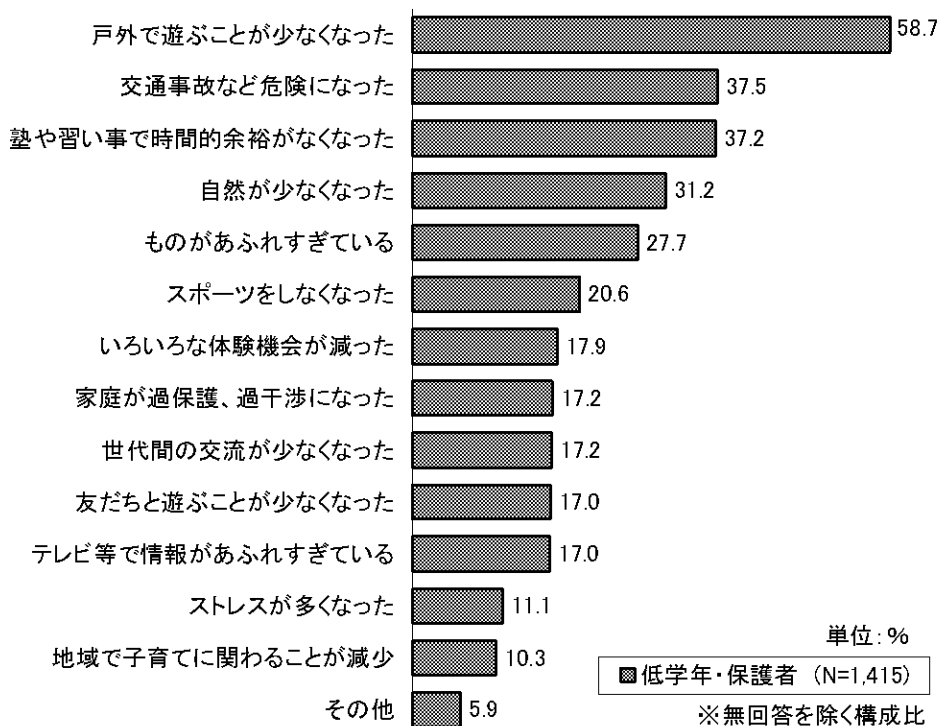
図 7 子どもの遊び場（平日）



○戸外の遊びや、子どもの時間的余裕が減少し、交通事故などの危険が増加

最近の子どもを取り巻く環境の変化として、「戸外で遊ぶことが少なくなった」が6割弱、「交通事故など危険になった」、「塾や習い事で時間的余裕がなくなった」が4割弱と、高くなっています。

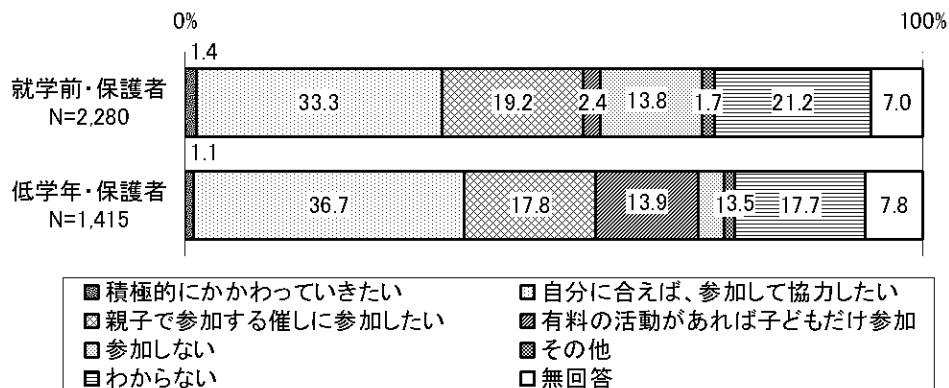
図 8 子どもを取りまく環境の変化



○3人に1人が「自分にあうグループがあれば、参加し、協力する」

子育てに関するサークルなどの参加意向をみると、就学前保護者の3割強、低学年保護者4割弱が、「自分にあうグループがあれば、参加して協力したい」と思っています。また、就学前保護者、低学年保護者の2割弱が「親子で参加する催しに参加したい」と思っています。一方、就学前保護者、低学年保護者の2割程度が「わからない」と回答しています。

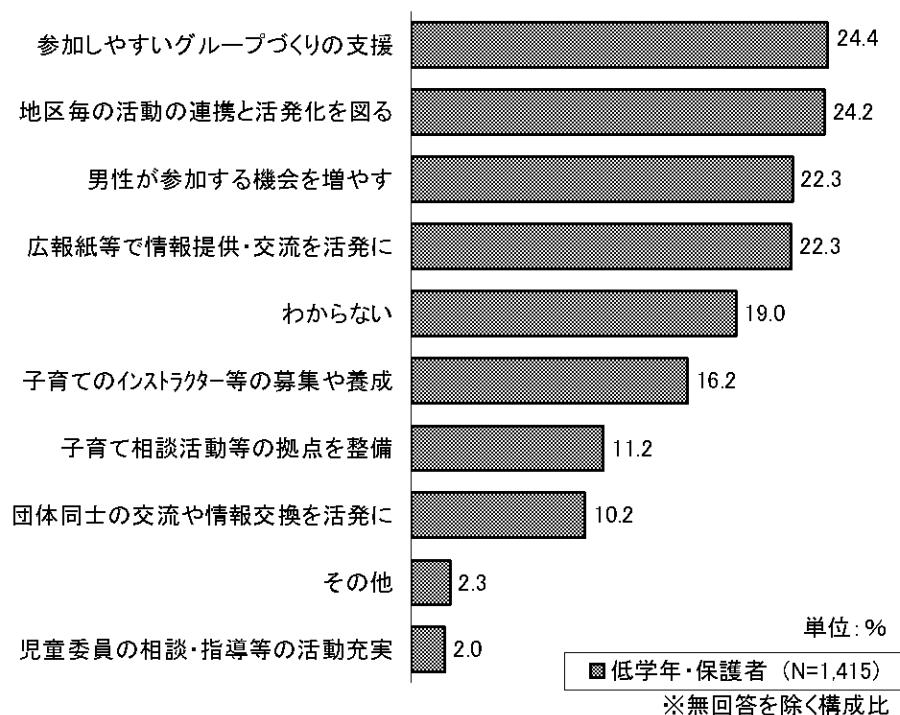
図 9 子どもや子育てに関する参加意向



○「グループづくり支援」、「地区の連携」、「男性の参加」による地区活動の活性化

地域活動の活性化についてみると、低学年保護者の4人に1人が「参加しやすい子育てグループづくりを支援する」、「広報紙などでの情報提供・情報交流をもっと活発にする」をあげています。次いで、5人に1人が「遊びやスポーツの付添い・指導など、男性が参加する機会を増やす」、「地区ごとの子ども会活動、公民館活動、コミュニティ活動の連携と活発化を図る」をあげています。

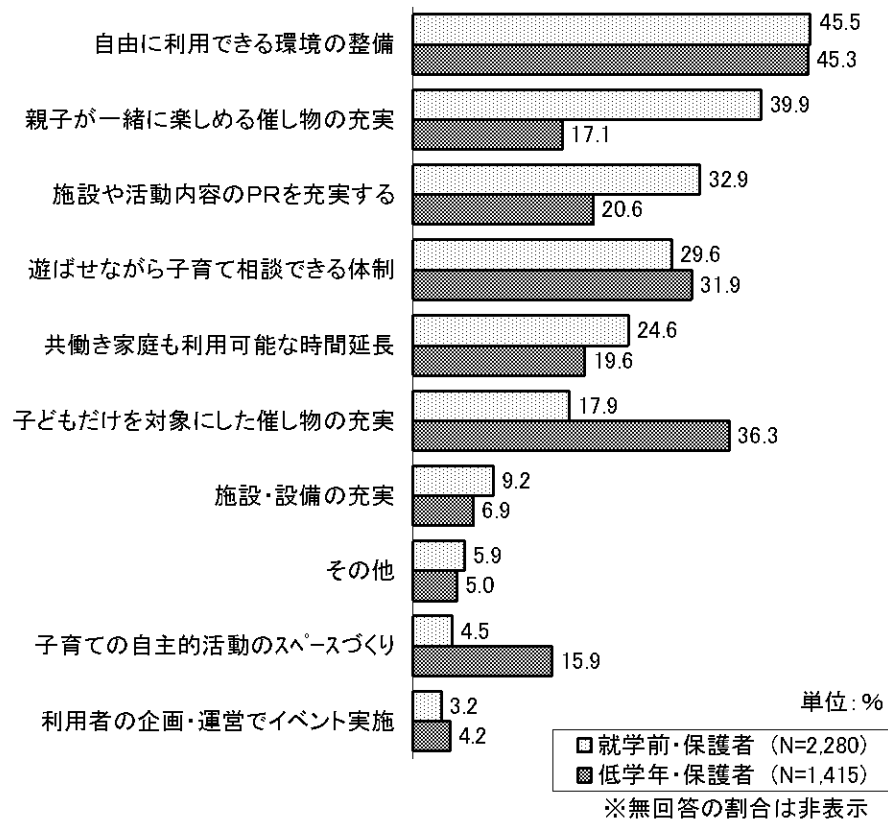
図 10 地域活動の活性化のために



○自由に利用できる児童館や、子どもだけを対象にした催し物の充実

児童館・児童センターについて改善すべきことについてみると、就学前保護者、低学年保護者ともに2人に1人が「自由に利用できる環境の整備」、3割が「子どもを遊ばせながら、子育て相談ができる体制づくり」をあげています。また、低学年保護者では、4割強が「親子が一緒に楽しめる催し物の充実」、3人に1人が「施設や活動内容のPRを充実する」をあげており、全体的に低学年保護者よりも就学前保護者の方の指摘が多くなっています。

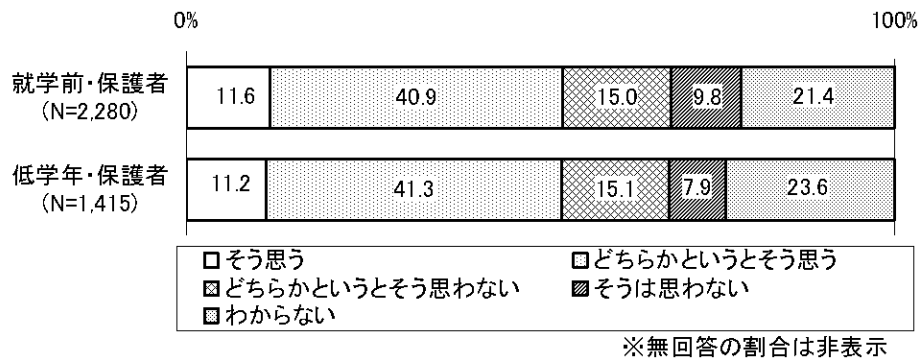
図 11 児童館・児童センターの改善について



○半数が子育てしやすい町だと思っています

子育てしやすいまちかについては、就学前保護者、低学年保護者ともに半数が、「思う」（「そう思う」又は「どちらかというと思う」）と回答しています。

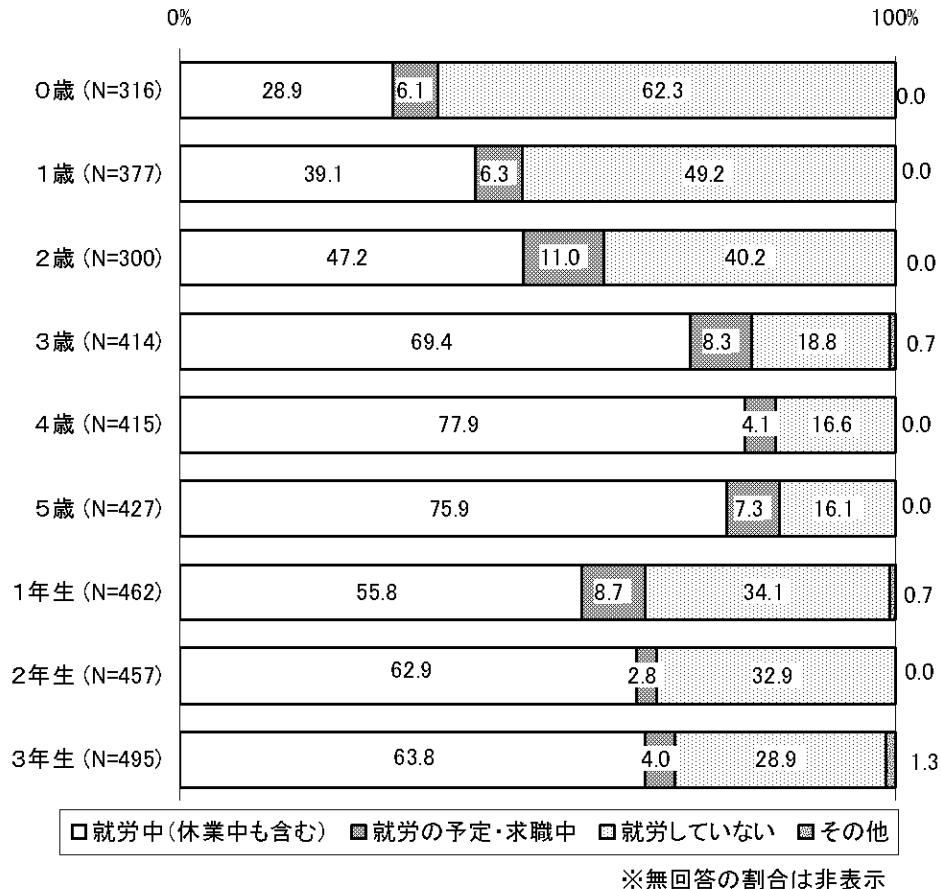
図 12 子育てをしやすい町



●低学年の6割の保護者が就労

保護者の就労状況をみると、就学前保護者では、年齢が高くなるに従い、就労している割合が高くなり、4、5歳では、8割弱となっています。低学年ではやや減少し、それぞれ6割前後となっています。

図 13 主に世話をしている保護者の就労状況



○理想の子どもの数は3人、予定は2人

予定の子ども数・理想の子どもの数をみると、理想は「3人」が多く、「予定」は「2人」が多くなっています。

また、子どもが理想より少ない理由は、「経済的に余裕がない」、「子どもの教育にお金がかかる」などが多くなっています。

図 14 理想の子どもの数と予定

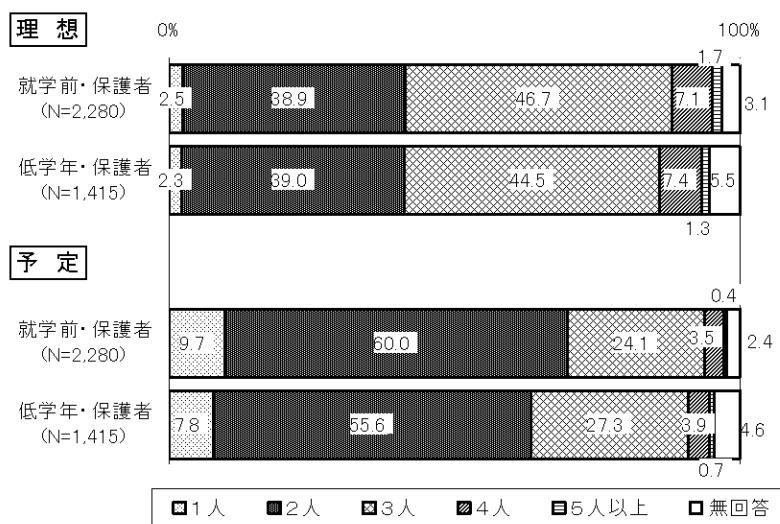
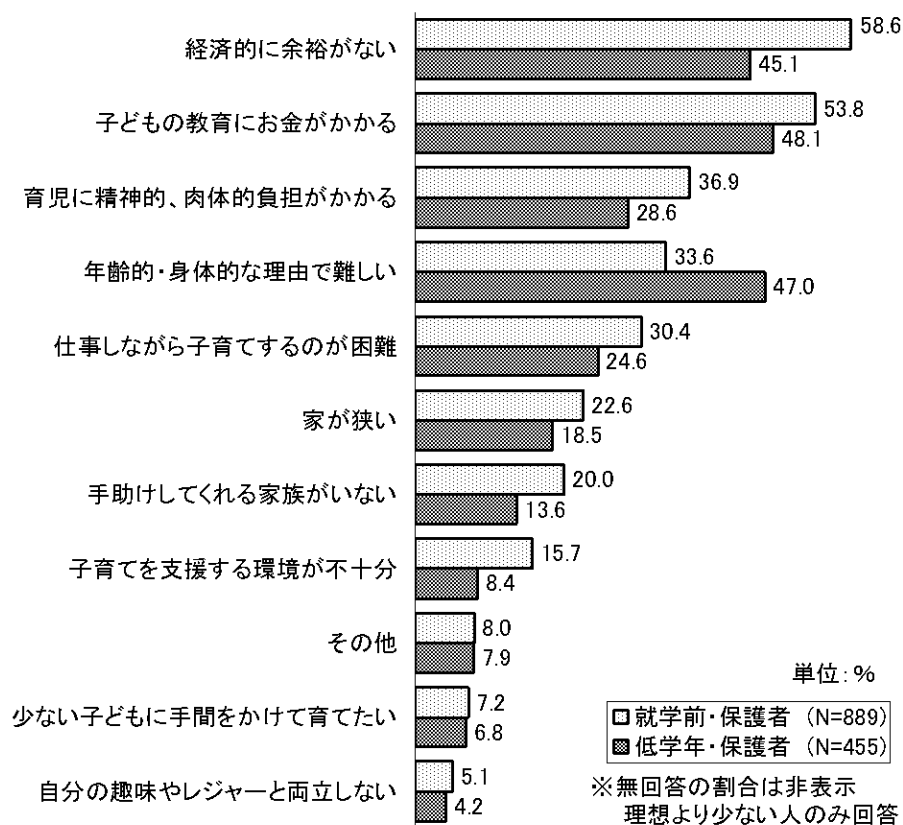


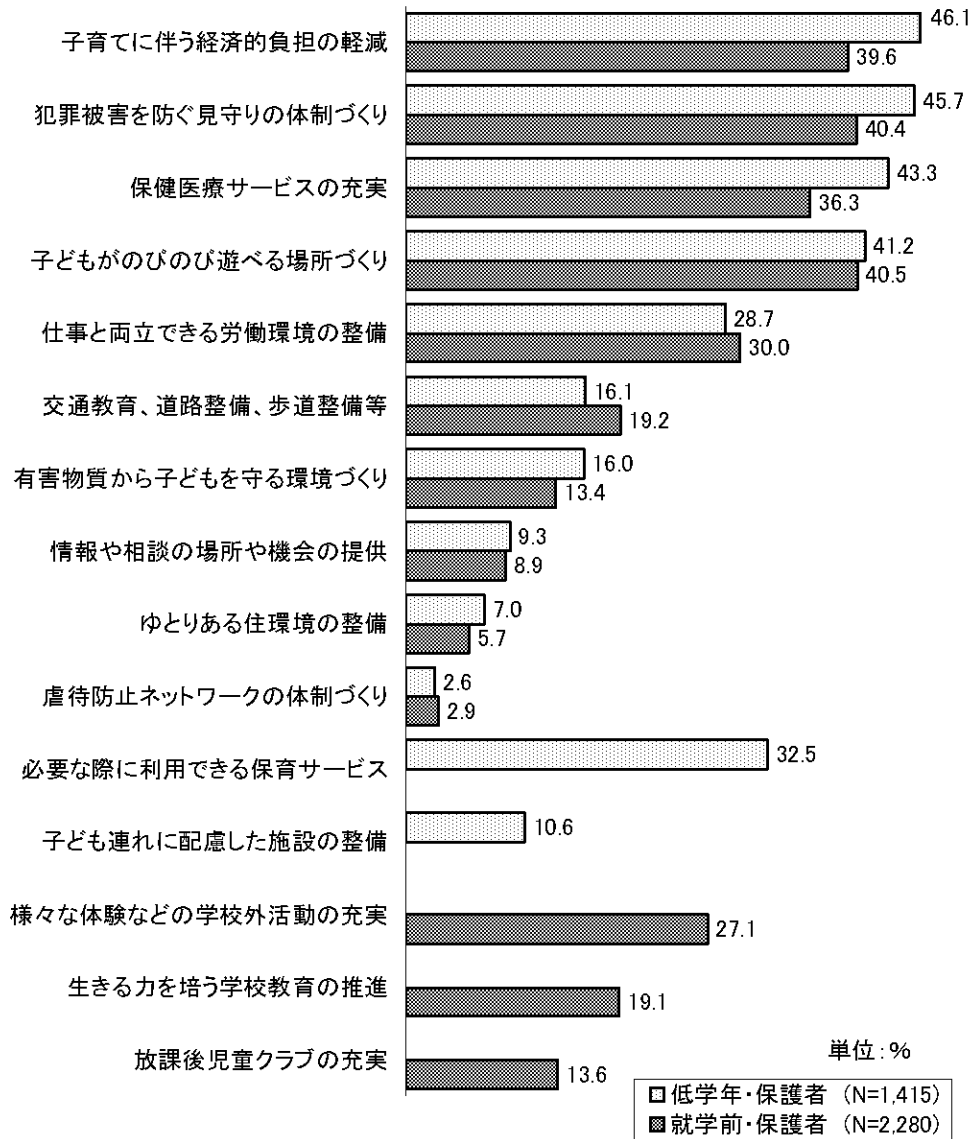
図 15 予定より、子どもが少ない理由（理想より少ない人）



○経済的負担の軽減、防犯対策、保健医療の充実を行政に求めています

子どもをすこやかに育てるために町・県・国に望むこととして、就学前保護者、低学年保護者ともに、「子育てに伴う経済的負担の軽減」、「子どもが犯罪の被害にあわないよう見守りの体制づくり」、「保健医療サービスの充実」、「子どもがのびのび遊べる場所づくり」に対する期待が高くなっています。

図 16 町、県、国に期待する施策



2. 次世代の思い ～子どもたちが描くまち～

(1) 児童アンケート ～新川町・児童館利用者～

新川町内の3つの児童館を利用している児童・生徒を対象としたアンケート調査では、小学4年生から高校3年生までの139人から回答がありました。

図 17 回答者の学年・性別

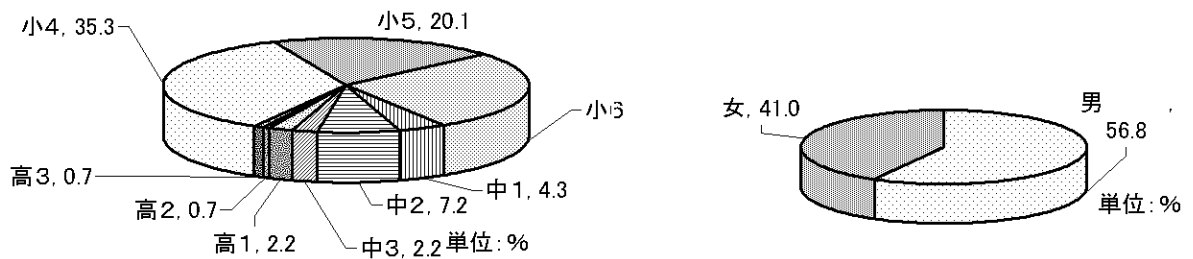


図 18 休日の過ごし方

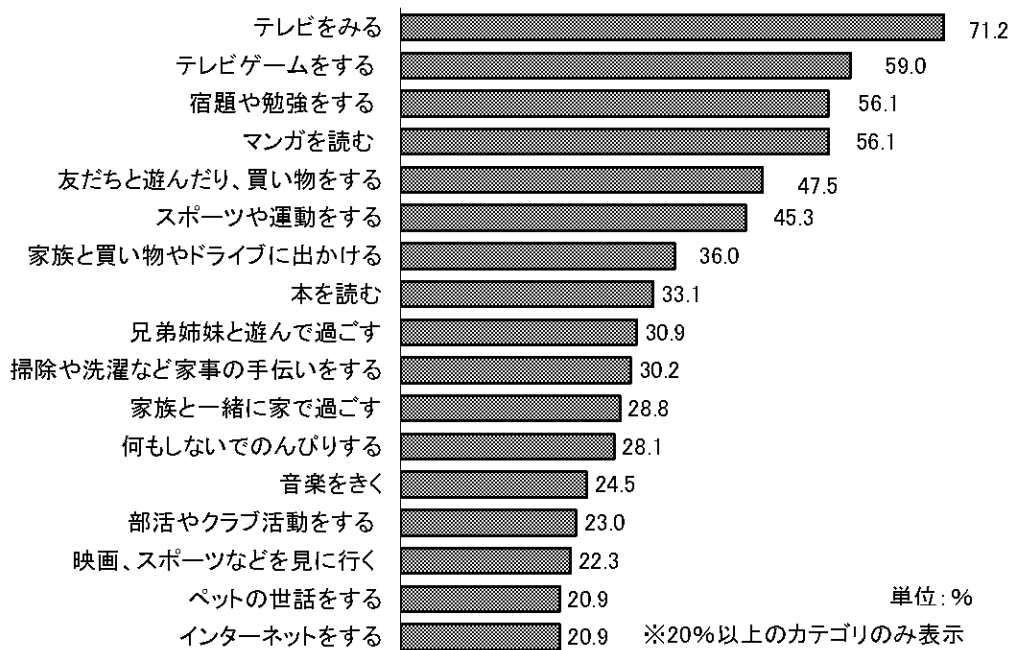


図 19 家の手伝いについて

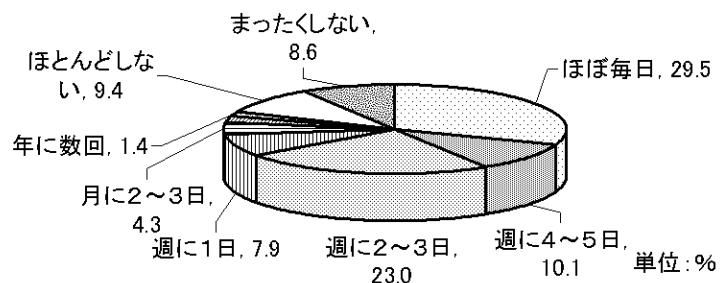


図 20 現在参加しているクラブ活動や地域活動

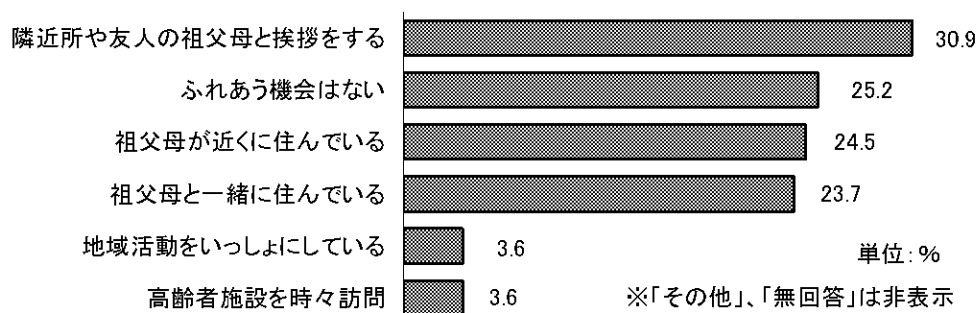


図 21 高齢者とふれあう機会

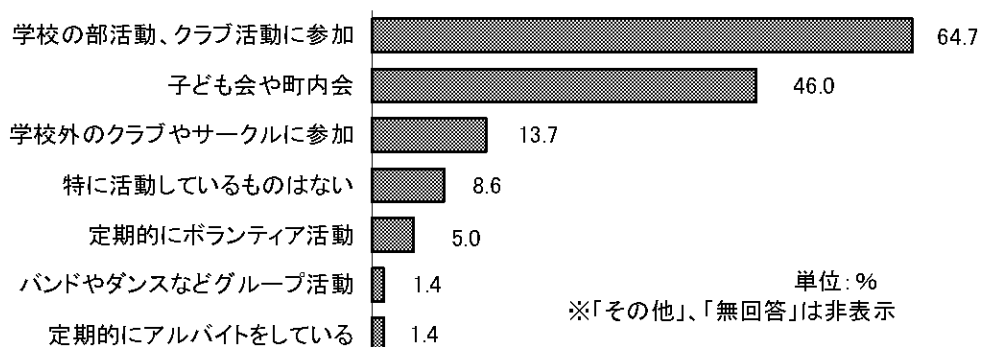


図 22 保育園児など乳幼児とふれあう機会

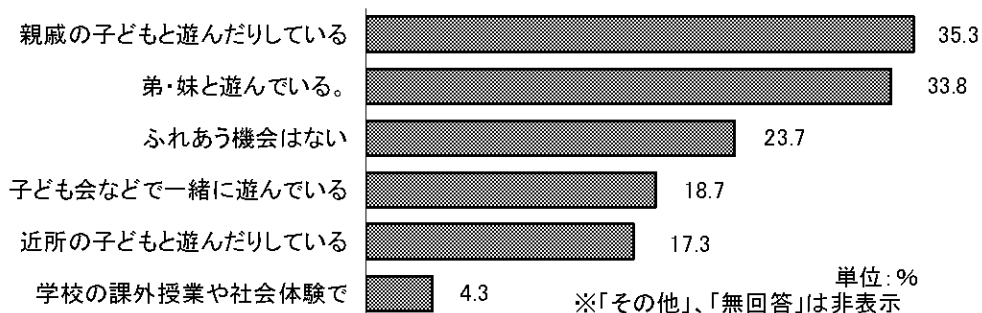


図 23 参加したい地域活動

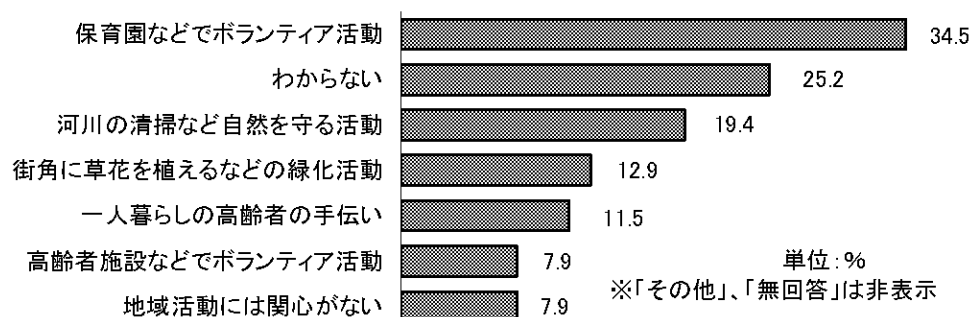


図 2 4 児童館の改善点について

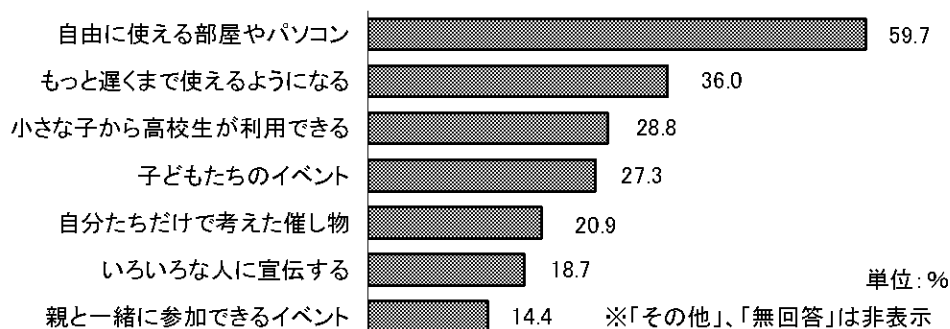


図 2 5 将来住みたい場所

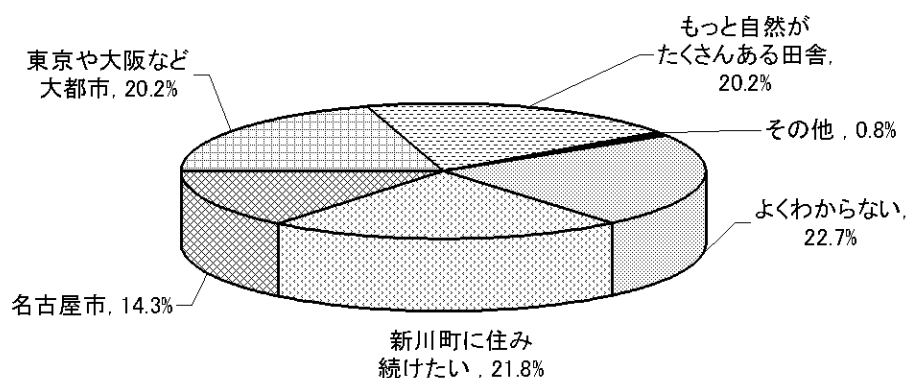
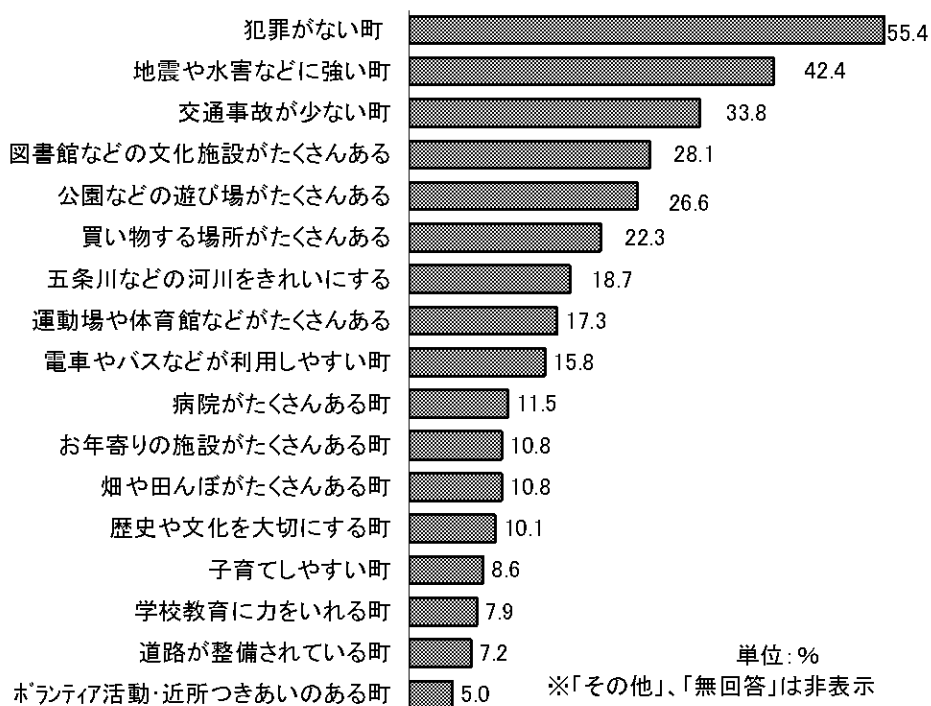


図 2 6 新川町の将来について

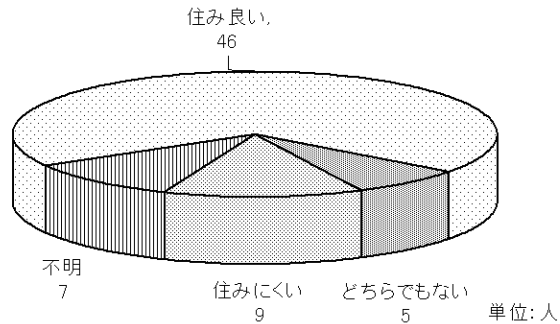


(2) 児童アンケート ～西枇杷島町～

西枇杷島町では、中学校3年生の67名を対象に平成16年7月～8月にアンケート調査を実施しました。

◆西枇杷島町は、住みよい町ですか。

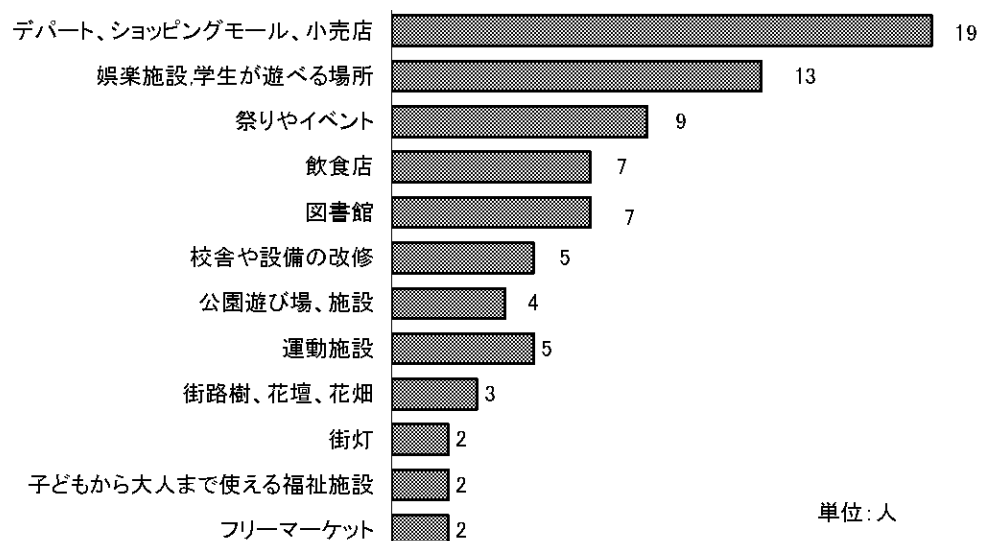
図 27 西枇杷島町の住み良さ



○住み良い	○住みにくい
<ul style="list-style-type: none"> ・祭りなどが楽しい ・住み慣れた町だから ・自然もあって、静か ・生まれたときから住んでいるから ・名古屋のようにごみごみしていないから ・田舎っぽいところがあるから ・町の人が住みやすいように工夫しているから ・交通の利便性がよい 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・小売店や交通の利便性がよくない ・空気が悪い、悪臭が強い ・西枇中の周りの環境が悪い ・財政が豊かでない

◆西枇杷島町にとってこんなことがあったら（施設面・その他環境）たのしいすてきな町なると考えられる点について自由に書いてください。

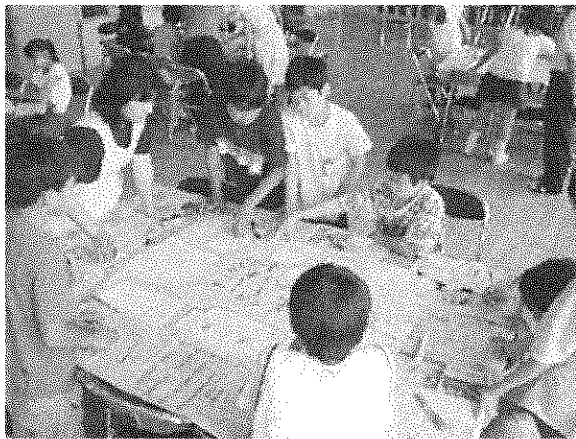
図 28 西枇杷島町にあるとよいと思う施設や環境



その他、防犯対策の強化、歩道の整備、スポーツ大会、放置自転車対策、公衆衛生、財政削減、病院、川をきれいにするなどの意見が出されました。

(3) 子どもワークショップ

清洲小学校6年生 40 人の皆さんが6つの班に分かれて、将来の清洲町が「こんなまちだったらいいなあ」というテーマで、それぞれの思いを出し合い、KJ法⁸を使ってまとめました。



あるといいなあ

- ・ おもいきりスポーツができるあき地があるといい
- ・ 大きい公園ができればいい

はやく行きたいなあ

- ・ 本がいろいろある図書館がほしい
- ・ 野菜などを作るところが増えるといいと思う。
- ・ テパートが少ないのでふやしてほしい

みわくの香り

- ・ 悪臭をなくしてほしい
- ・ カラスのふんをどうにかしてほしい

うほほーい
清洲町

自然

- ・ 五条川のゴミがなくなってきれいになってほしい
- ・ ぼうけん出来そうなでっかい森
- ・ 桜の木が前のようにいっぱいになってほしい

便利な場所

- ・ 清洲町にバリアフリーを増やしてほしい
- ・ 清洲城に関連する観光スポットがほしい
- ・ 夜くらいから電灯をふやしてほしい
- ・ ご老人の人の生活がしやすいバリアフリーがある町

夏涼冬雪（かりょうとうせつ）

- ・ 冬、雪がいっぱいつもるといい

あってほしいな ～学校K-ジ ョン～

- ・ 学校にちがう教科をいれてほしい
- ・ 学校のプールを温水プールにする

元気に遊ぶ ～P-ルK-ジ ョン～

- ・ アルコのスライダーを世界一長く、急にする

キレイな町 ～自然K-ジ ョン～

- ・ もっと草花をいっぱい植えてほしい
- ・ 世界一キレイな町になってほしい
- ・ 五条川をきれにして、水遊びができるようにしたい

すごいこと ～日本一K-ジ ョン～

- ・ 清洲限定の食べ物のや限定品がほしい
- ・ 有名な町にしたい。
(でっかい木があることで有名など)

☆夢いっぱい
清洲町

来てほしいいな～有名人K-ジ ョン～

- ・ 有名な人とかを呼んだり、みんなで楽しめる清洲町の行事やおまつりをひらきたい

ドリーム ～未来K-ジ ョン～

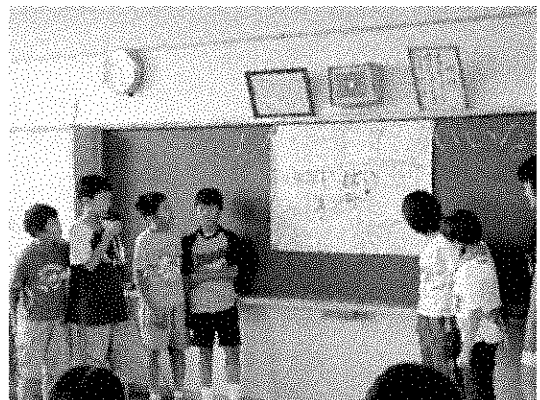
- ・ 町内だけを回る電しゃを道路にはしらせる

あったらいいなあ～施設K-ジ ョン～

- ・ 大きなテーマパークがほしい
- ・ どんなびょうきでもなおせるびょういんがほしい

ピース ～平和K-ジ ョン～

- ・ けいさつがいらぬ町。理由：悪さをしなければけいさつがいらぬとか
- ・ 子どもから大人まで思いやりがあり仲よしな人たちでいっぱい町でいてほしい



⁸計画づくりのワークショップの1つのやり方で、元京大の川喜多（K）二郎（J）教授が始めた、カードを使って多くの人がいろんな意見を出し、参加者全員で1つの計画にまとめていく方法。

桜・さくら・・・サクラ

- ・ 桜のトンネルだけでなくほかの草花のトンネルなどもほしい

江戸時代

- ・ 歴史のあるものなどが、たっしてほしい

110番百十条

- ・ 犯罪のない町になってほしい
- ・ 東海じしんがこないでほしい

きちょうな自然

- ・ 田畑のとこを家にしてしまうのはこれ以上やめてほしい
- ・ 米や野菜の産地になってほしい

ウオーターポイス

- ・ 魚が五条川にきてほしい

みんなの願い

みんなで遊ぼう 楽しく遊ぼう

- ・ 公園が広くなってほしい
- ・ 公園に遊具をいっぱいつけてほしい

おさかな天国

- ・ 海がほしい

いつもにぎやか

- ・ ドラマのさつえいとかをして芸能人とのふれあいがあってほしい

ごらくパラダイス

- ・ 映画をみるところが増えてほしい

夢のキャラクター場所

魚(ウッ)! 川がきれいになった!

- ・ 五条川をきれいにして遊びたい

ビバ!! みんなの 遊ビバ

- ・ 大きな森のような散歩道がほしい
- ・ 清洲町にミニ遊園地を作ってほしい

こんな町がほしいっ!

- ・ ちんちん電車を通してほしい

こんな家いいな♪できたらいいな♪

- ・ 家のかべが水族館みたいなのがいい
- ・ 清洲町に時計とうがほしい

元気 ハツラツゥ〜清洲町

生活がぜいたく

- ・ 科学でノーベル賞を取って、お金持ちになる

ゴハンがゴハンがススムくん

- ・ 給食の牛乳をもっとつめたくしてほしい

いい店いっぱい

- ・ 清洲町にいろいろな人のお店がほしい

ピッカピッカの学校がほしい

- ・ パソコンを一人ひとりにしてほしい

安全第一

- ・ どんなことがあってもくずれない安全な町がいい

木モク大きな木がほしい

- ・ 桜を切りたおさないでほしい

芸能人が現れたら!

- ・ いそのきり子が清洲に住んでもらいたい

自然と仲良く

- ・ もっと鳥などの生き物が増えてほしい
- ・ 環境にいい車が多いといいな

あふれる親切

- ・ もっと福祉について考えてくれる町になってほしい
- ・ この町に住んでいる人がみんなずっと健康でいてほしい

ず〜といたい平和な町 清洲

- ・ はんざいがあまりない町になってほしい

ほしいな〜

- ・ 児童館などがもっとふえてほしい
- ・ 老人や障害者の施設が増えてほしい

やってみよう

- ・ もっと清洲町全員で行う行事をふやしてほしい

希望にあふれる 清洲

守って行こう

- ・ ずっと伝統のある町でいてほしい

楽しい公園 遊ぶぞ〜

- ・ 健康のきぐがこうえんにあるといい
- ・ 遊べるところが増えてほしい

こんな行事があると・・・

- ・ 行事をふやしてほしい

スポーツがしたいなっ!

- ・ 子どものためのあそびばを作ってほしい

みんな集まれ清洲町!

- ・ たくさんの人が遊びに来てほしい

まもれ自然環境

- ・ 木がいっぱいで虫たちがいっぱいすめる町になってほしい

- ・ くう気がきれいな町になってほしいです

ぴー-ルしよう!みんなの町清洲町!

- ・ きよすのキャラクターがあればいい

ぜいたく

キヨス

楽しいお店キヨス

- ・ 清洲の名産物があるといい

めざそう!安全な町!

- ・ はんざいがおきない町がいいな

学校問題

- ・ クラスのもちあがりがあるといい
- ・ 学校の部活がふえるといい

いろいろきよす!

- ・ いろいろな体けんができるしせつがいっぱいあるといい

- ・ 清洲に大きな図書館を作ってほしい

有名な町キヨス町!

- ・ 有名な人が清洲にすめるような町になってほしい

資料3 計画策定の経緯

1. 策定委員会の経過

テーマ	西枇杷島町	清洲町	新川町
○次世代育成支援行動計画の趣旨説明 ○アンケート調査結果報告 ○策定スケジュールについて	平成16年 5月28日	平成16年 5月28日	平成16年 5月27日
○計画書の構成について ○計画の理念・目標について ○計画の体系及び重点プロジェクトについて	平成16年 11月29日	平成16年 11月30日	平成16年 11月29日
○計画の体系について ○施策の展開について ・取り組みの方向、主な取り組み・事業について ・保護者・住民・関係団体の取り組みについて	平成17年 1月28日	平成17年 1月28日	平成17年 1月27日
○清須市次世代育成支援行動計画(案)について	平成17年 2月24日	平成17年 2月24日	平成17年 3月1日

2. 策定委員会名簿

西枇杷島町・次世代育成支援計画策定委員

	区分	職名等	氏名
1	社会福祉関係	社会福祉協議会会長	口田 博
2	民生児童委員	主任児童委員	田辺 洋子
3	町内の子育て支援	ネットワークー	建部 憲子
4	小学生保護者代表	西枇杷島小学校 PTA 副会長	森下 泰代
5	幼稚園保護者代表	第1幼稚園 PTA 会長	櫻井 美恵子
6	保育所保護者代表	父母の会会長	西垣 照子
7	町内の子育て支援	子育てサポーター	武島 敦子
8	文教行政関係者代表	古城小学校長	安藤 秀夫
9	福祉関係	福祉部主幹	宮崎 美知代
10	児童館代表	創造センター所長 児童館長	服部 陽子
11	幼稚園長代表	第2幼稚園長	中村 麗子
12	保育所代表	保育所長	森井 ナツエ

清洲町・次世代育成支援計画策定委員

	区 分	職 名 等	氏 名
1	町議会議員代表	議 会 議 長	高山 萬三
2	町議会議員代表	福祉委員長	徳永 敏巳
3	児童委員代表	主任児童委員	日下部 壽子
4	児童委員代表	主任児童委員	森 宣子
5	住民代表	代表委員会	村瀬 文雄
6	町社会福祉協議会代表	会 長	小川 禎一
7	町子ども会連絡協議会代表	会 長	大崎 巳津子
8	保育園保護者会代表	会 長	松井 あつ子
9	太陽クラブ代表	会 長	大岡 裕子
10	清洲小学校 PTA 代表	会 長	宮浦 幸昭
11	東小学校 PTA 代表	会 長	後藤 鈴明
12	教育委員会代表	教 育 長	居藤 照雄
13	学識経験者	子ども会前会長	伊東 ひとみ
14	学識経験者	太陽クラブ前会長	富永 玲子
15	学識経験者	保育サポーター	野々村 泰子

○オブザーバー

	職 名 等	氏 名
1	尾張事務所 健康福祉課長	中村 栄一
2	愛知県師勝保健所 地域保健課長	荒川 芳江

新川町・次世代育成支援計画策定委員

	区 分	職 名 等	氏 名
1	社会教育委員	社会教育委員会会長	近藤 季男
2	社会福祉関係	社会福祉協議会会長	菅沼 博
3	民生委員・児童委員	民生委員・児童委員協議会会長	柘植 保
4	民生委員・児童委員	主任児童委員	原田 晴美
5	保育園保護者会代表	保護者会会長	石田 清美
6	小学生保護者会代表	星の宮小PTA会長	青木 幸基
7	町内各種団体代表	児童館児童クラブ代表	奥野 しげり
8	〃	子育てネットワーカー代表	吉田 春美
9	〃	心身障害者福祉協議会会長	芳村 重夫
10	〃	母子保健推進委員代表	荒木 浩子
11	〃	サポートステーションタイム代表	松尾 里美
12	県行政関係者代表	中央児童・障害者相談センター 児童福祉司	池田 信男
13	〃	師勝保健所地域保健課長	荒川 芳江
14	文教関係者代表	教育長	内田 敏正
15	〃	校長会代表桃栄小校長	小出 明

子育て夢プラン
一次世代育成支援行動計画

平成17年3月
西枇杷島町 清洲町 新川町

